



Imperva SecureSphere Agent for Big Data

データシート

ビッグ・データのセキュリティおよびコンプライアンス監査要件を満たす

ビッグ・データ・デプロイメントを保護

ビッグ・データ・デプロイメントに保存された機密データには、データベース内の機密データと同様のコンプライアンス要件が課せられ、データ漏えいや許可されないアクセスからデータを保護する必要があります。SecureSphere Agent for Big Data は、セキュリティ、監査、およびリスクの専門家にビッグ・データ・デプロイメント内のデータ使用におけるリアルタイムの可視性を提供します。強化された可視性とレポート機能によってデータのセキュリティが向上し、コンプライアンス指令を満たすのに役立ちます。

ビッグ・データ・レベルでの拡張性とパフォーマンスの監査

ほとんどのビッグ・データ監査ソリューションは、ビッグ・データ環境内に保管されている機密データの量、速度、および多様性に合わせて拡張できるように作られていません。SecureSphere Agent for Big Data はビッグ・データ・コンポーネント内から直接活動を監視することによって、拡張性の見えないリスクを回避するように設計されています。さらに、関連のある監査データだけがゲートウェイに送信されるため、帯域幅、ストレージ、および以降の分析への影響を最小限に抑えます。効率的に転送され、最適に保存され、リアルタイムに使用可能となった、より関連性のあるデータは、エンタープライズ・データ・セキュリティおよびコンプライアンスのプロセスのための非常に拡張性の高いモデルとなります。

SecureSphere Agent for Big Data は、セキュリティ、監査、およびリスクの専門家にデータ・デプロイメント内のデータ使用におけるリアルタイムの可視性を提供します。

SecureSphere Agent for Big Dataのメリット

- 特権ユーザや異常な活動に対する可視性を提供
- ビッグ・データ内の機密データのコンプライアンス要件を満たす
- インシデント応答およびフォレンジック調査の迅速化
- ビッグ・データ・デプロイメント内の機密データを保護

共通のアクティビティ監視機能をビッグ・データにまで拡張

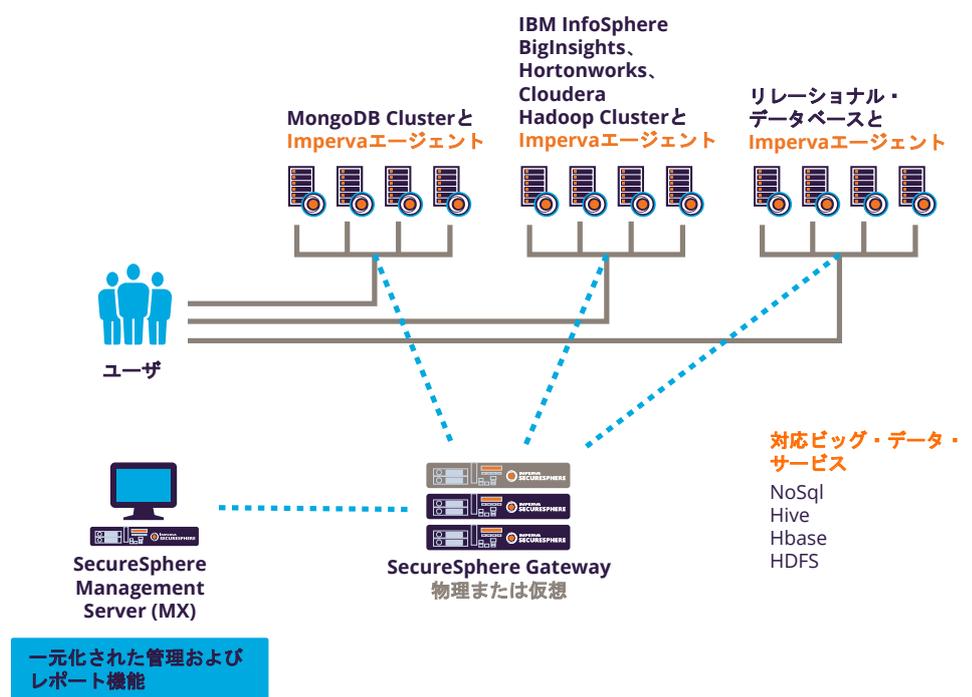
SecureSphere Database Activity Monitoring ソリューションは、論理的な抽象レイヤを使用して、ポリシー・ルールをビッグ・データ特有の言語に変換する必要なしに、SecureSphere データベース・ポリシーをビッグ・データ・ノードに適用します。これにより、監視対象のビッグ・データ・ノードからの監査データが、他のエンタープライズ・システムからの監査データと共に処理および表示されるようになり、機密データへのアクセスの完全で統合されたビューが提供されます。SecureSphere ダッシュボード・ビュー、レポート、およびアラートによってインシデント応答が促進され、データベースおよびビッグ・データの両方で迅速な解決が可能になります。

ビッグ・データの専門知識の必要性を最小限に抑える

SecureSphere Management Server は、あらゆる種類のデータの保存場所に一律にポリシーを適用するための、使いやすいポリシー定義および管理を提供します。SecureSphere Agent for Big Data は、ポリシー・ルールを、サポート対象の各ビッグ・データ・サービスで使用される固有の言語に自動的に翻訳します。関係のない情報をリアルタイムで自動的にフィルタし、要求された監査情報だけをゲートウェイに送信します。

ビッグ・データ環境内では、データベース上で使用される SQL 言語に相当する共通の言語はありません。加えて、ビッグ・データ・レコードを「読み込む」ための単純なコマンドは、数多くの小さなトランザクションに分けられます。監査ポリシーのマニュアル開発には、ビッグ・データの各コマンド言語の専門知識と、監視対象の各アクティビティ・タイプを構成する低水準のコマンドの正確な理解が必要です。それらを合わせて、データベースに適用されているポリシーと合致する同期したポリシーを作成する必要があります。このモデルでは必然的にエラーが発生し、監査プロセスは中断し、企業はコンプライアンス目的の監査ができず、ビッグ・データは保護されなくなります。

ポリシー・ルールを自動的にリポジトリ (固有のコマンド) に翻訳することで、SecureSphere Agents for Big Data は監視対象のビッグ・データ・サービスの専門知識の習得や維持の必要性を排除します。



Imperva SecureSphere のサイバー・ セキュリティ

Imperva SecureSphere は、SecureSphere Web、Database and File Security を含む、包括的で統合されたセキュリティ・プラットフォームです。大企業のデータセンターのセキュリティ要求にも応えられるよう拡張でき、ますます高まる脅威に対して製品の最先端の防衛を行っているワールドクラスのセキュリティ研究機関である Imperva アプリケーション・ディフェンス・センタによって支援されています。



許可されないアクセスや不正な活動の検出

特権ユーザの活動や、ビッグ・データへの疑わしい、または許可されないアクセス活動に対する可視性が得られます。異常なアクセスや許可されないアクセスの活動が検出された場合、SecureSphere はリアルタイムでアラートを発します。アラートは、管理者、Security Information Event Managers (SIEM)、チケット・システム、およびその他のサードパーティ製のソリューションに送信できるため、ビジネス・プロセスを効率化できます。

セキュリティ調査とフォレンジック分析の迅速化

SecureSphere はコンプライアンスのレポート作成とフォレンジック調査を簡素化し、セキュリティ・リスクを示す傾向やパターンを特定します。SecureSphere のインタラクティブな分析ダッシュボードは、監査活動に対して深い洞察を提供します。セキュリティ・チームと監査員は、スクリプティングの必要のない直感的なユーザ・インターフェースを使用して、データ活動を監視、分析して関連付けることができます。Splunk を利用して高度な分析を行う企業のために、事前に設定されたデータのプレースホルダと専用の API セットのある専用のインターフェース・パネルが用意されています。

リアルタイム・アーキテクチャ

SecureSphere はデータベースおよびビッグ・データの活動をリアルタイムに収集し、分析します。そして、企業のデータ・アクセス・ポリシーに対して何らかの違反があった場合はただちにセキュリティ・チームと運用チームに通知します。エージェントのアーキテクチャは最も要求の厳しい環境にも対応するよう簡単に拡張できます。各 SecureSphere アプライアンスは複数のエージェントに対応し、非常に大規模で複雑なデータベースとビッグ・データ環境のニーズをも満たせるように拡張できます。